

ほたるの里だより



八千代市ほたるの里づくり実行委員会
第39号 2012年10月

「エコメッセ2012 in ちば」に参加して

9月に入っても厳しい残暑が続くなか、9月17日（月）に幕張メッセ国際会議場において「エコメッセ2012 in ちば」が開催され、私たち「ほたるの里づくり実行委員会」も出展参加しました。

この「エコメッセ2012 in ちば」には、ちば最大の環境活動見本市として、「循環型社会への取組」、「生物多様性保全の取組」、「千葉の里山田舎暮らし物産展」、「環境に配慮したモノづくり」、「学生の取組」、「地球温暖化防止の取組」、「環境教育環境学習」に関する172のブースに企業・団体からの出展参加がありました。また、隣接する「ちばの川と水探検館」のコーナーでは、「ほたるの里づくり実行委員会」を含め24の団体（行政、市民団体、学生、企業等）の出展参加があり、多くの来場者で熱気に溢れ大盛況でした。

私たち「ほたるの里づくり実行委員会」のブースでは、ホタルの幼虫の実物や標本の観察、活動場所や活動状況及びホタルの生態に関するパネルの展示、手づくりの魚釣り体験（プール）を設置し、駆けつけたホタルメイトの応援を受けながら実施することができました。私たちのブースにも多くの人（213人）が訪れ、特に普段ほとんど見る機会のないホタルの幼虫観察では、

ホタルの幼虫が肉食（カワニナ等の巻貝を捕食）であることや、成虫とはとても似つかわしくないその姿に大人も子供も興味深げに顕微鏡をのぞき込んでいました。ブースに訪れた人からは、ホタルの生態や発生状況及びほたるの里づくりの活動に関する質問もあり、ホタルが住める環境づくりに少しでも関心を持ってもらえればと感じました。

今回の「エコメッセ2012 in ちば」に参加して、行政・市民団体・学生・企業など各層にわたる幅広い環境活動の広がりを感じ心強く思いました。また、他のいろいろな環境活動の取り組みの様子を見聞きすることができ、参加団体にとっても、お互いの活動・取り組みを知り、理解を深める機会として有効であったと思われます。そして、持続的な環境保全を進める上で行政・市民団体・学生・企業がそれぞれの角度から環境問題を考え協働していくことの必要性を改めて感じました。

私たちのブースを訪れ、ホタルの幼虫の観察や魚釣り体験に夢中になる子供たちの姿を見て、いつか、ほたるの里で自生するホタルの輝きを見つめる子供たちの輝く顔を見たいと思いつつ帰路につきました。

（文責 管理部会 関）



エコメッセ2012 in ちば 出展風景

24年度ホタルメイト団体 私たちはほたるの里を応援しています！

石井食品株式会社

NPO法人高齢者福祉ネット

NPO法人子どもネット八千代

NPO法人八千代オイコス

ガールスカウト千葉県第57団

共栄物流株式会社

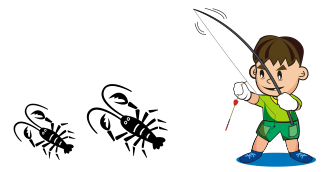
クボタ環境サービス株式会社

斉藤鑿泉管工

八千代ホタルフォーラム

有限会社 A 米本団体自治会

ホタルを守るための「ザリガニ釣り大会」報告



例年行われている「ザリガニ釣り大会」が、8月25日（土）に開催されました。今年度は「ホタルを守るため」を強調して皆さんに協力してもらえようようにネーミングを変えて募集し、子どもから大人まで70人の参加がありました。

熱中症に気をつけながら行いましたが、幸い“ほたるの里”は木々のさわやかさと水辺の心地よさでうだる暑さもそこそこに、ザリガニつりを楽しむ事ができました。

親子の姿と共に3世代の姿も多く見られ、池や湿地、水路など様々な場所で「ホタルを食べないで…」と糸を垂れ、ひと夏の良い思い出になったように思われました。



ザリガニ釣り大会風景

午前中2時間でしたが、バケツに入れられ動きまわるザリガニを必死で数え、169匹ものザリガニを駆除できました。今年も持ち帰り以外のザリガニは近所の方の鶏のエサとなり引き取られていきました。^

今回、『NHK』と『広報やちよ』の取材があり、奮闘する姿や子どものしっかりしたコメントなどお昼のニュースで報道され、広報やちよの一面にも掲載されるなど広報活動にもなり、“ほたるの里”に興味を持って頂く良い機会になりました。

ホタルメイトは希少な生物を守りつつ環境整備を行っています。心地よく懐かしい里を味わっていただけただけではないでしょうか。今回、石井食品株式会社に景品を協力して頂きました。本当に有り難うございました。

“ほたるの里”でホタルがたくさん自生してくれることを願っています。まだまだザリガニとの戦いは続くように思われます。決して池に戻したり他の生き物を持ち出したりし

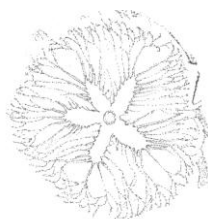
ないで下さいね。子どもたちのマナーや環境学習の場となるようにしましょう。

また、ホタルが乱舞する日を願って、一緒にほたるの里で活動をしてくださる方をいつも募集しています。
(文責 企画部会 武田)

夜の生き物観察会



8月4日道の駅にホタルメイトで募集した約20人の人達が集まり、ほたるの里の森さんを講師に夜の生き物観察会をスタートしました。コースは道の駅から新川沿いにほたるの里へ。ほたるの里から神社のわきを通り16号の一本手前の道を歩き道の駅に戻る約2時間のコースで、メンバーは親子・婦人・老人・若者が集まり夜の7時頃歩き出しました。まず足を止めたのが道の駅の裏のサクラの木にアブラゼミの抜け殻がたくさん見られ、「時間がもう少し遅ければ羽化自体が見られる」と森さんが説明しました。羽化するときは桜の木の下から這い出して木に登り枝の先で羽化を始めるそうです。^



カラスウリの花

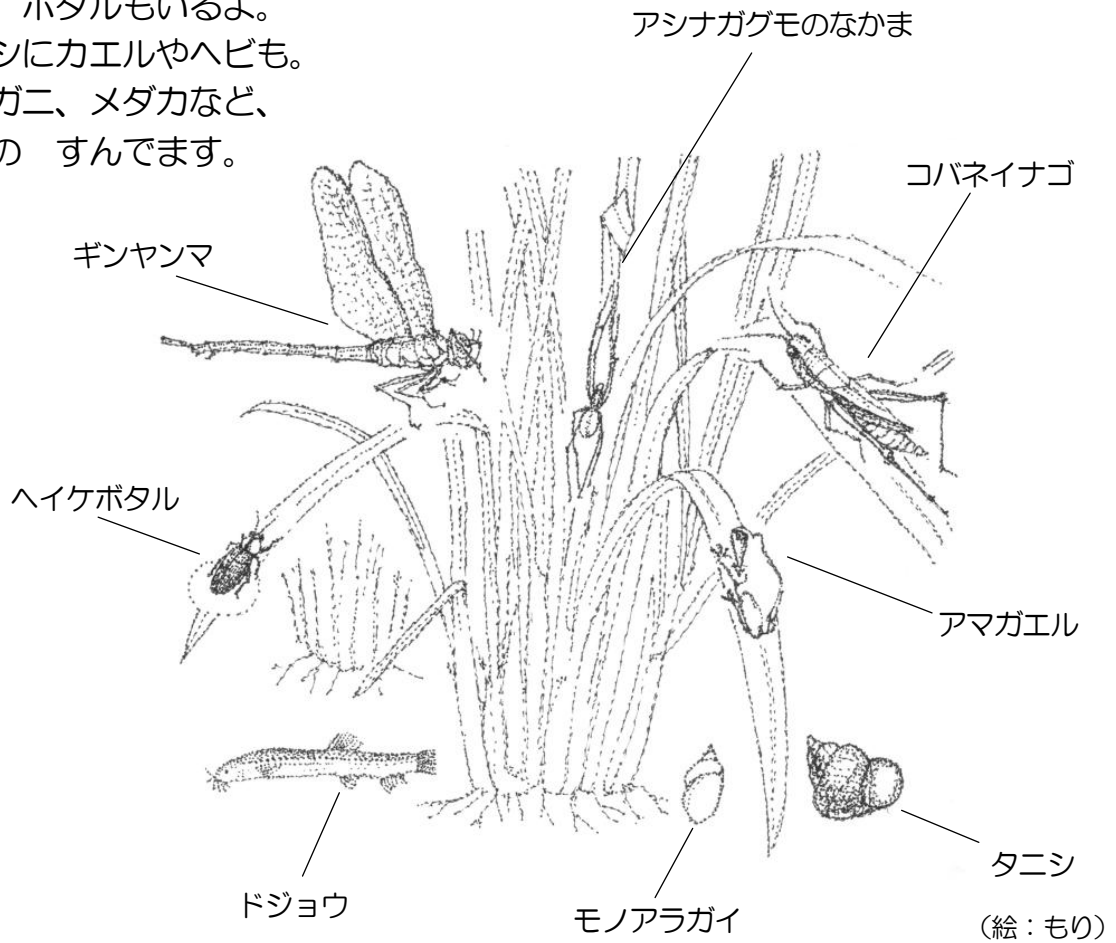
ウシガエルの鳴き声を聞きながらほたるの里へ行く途中幕張方面から花火がきれいに見えました。里のホタルハウスでは2匹のホタルが光っていましたよ。ほたるの里の前の道路を登り草花の説明を聞きながら、上りきった所は昔からの道だそうで脇には樹齢何百年のエノキの大木がそびえ立っていました。そこをくだって行くとカラスウリの真っ白な花がそこかしこにたくさん咲いていました(夜だけ花は開くそうです)。いろいろな草花や昆虫がまだ八千代に生息しているのを確認した観察会でした。セミの羽化も観察会後にサクラの木で観ることができたそうです。

来年は「夜の生き物観察会」をホタル観賞会と銘打って開催出来るよう、頑張りたいですね。

(文責 管理部会 金室)

～きっずコーナー～

イネのたんぼはだいかぞく。
 イナゴにトンボ、ホタルもいるよ。
 ドジョウ、タニシにカエルやヘビも。
 ミジンコ、ザリガニ、メダカなど、
 いろんな生きもの すんでいます。



(絵：もり)

酒々井の里山にも蛍！

J R「南酒々井駅」近くにある里山第2活動地「馬橋地区」の谷津沿い散策路整備区域で、7月中旬会員の一人が夜間観察の結果生息を確認しました。

活動地は管理放棄された広大な区域の一面にあります。両側から傾斜林がせまる延長約1.2kmの谷津で、かつては谷津田として稲作が行われていたが、耕作放棄と所有者の変転も加わりアシやヤナギが密生する荒廢地です。しかし、湧水は各所にみられます。

8月22日、NPO法人富里ホタルの会草野理事長他4名の会員をお招きして観察会のご指導を



クロマドボタル幼虫

酒々井里山フォーラム 代表 萩原 耕作

受けました。谷津に闇が迫ると、上空には淡い光の曲線が乱舞、足元の草むらには静止状態で点滅する光が目映り、幻想的な光景でした。

草野理事長の開口一番「今光っている数の5倍が生息数ですよ！」「スケールが大きいですね！」。生息するホタルは「ヘイケボタル」及び陸生ホタルの一種「クロマドホタル」と判明、特に後者は珍しいとのことでした。

ホタル発見の感激も束の間、この貴重な環境の保全・活用方策等、課題が脳裏を走り難問を内蔵した楽しみが又一つ加わりました。

この場所が市民のスポットとなるよう更なる環境整備を重ね、次世代承継を図りたい。

24年度 新規ホタルメイト加入団体 私たちはほたるの里を応援しています！

トーネット株式会社

日産自動車八千代営業所各支店

有限会社 ふれあい総合企画

CAC スイミングスクール勝田台

Kid's ☆garden

Take まつげ専門店

